

令和8年4月18日13時20分頃の長野県北部の地震について

令和8年4月18日13時20分頃に発生した長野県北部を震源とする地震について、地震や津波に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

本件に関する問い合わせ先

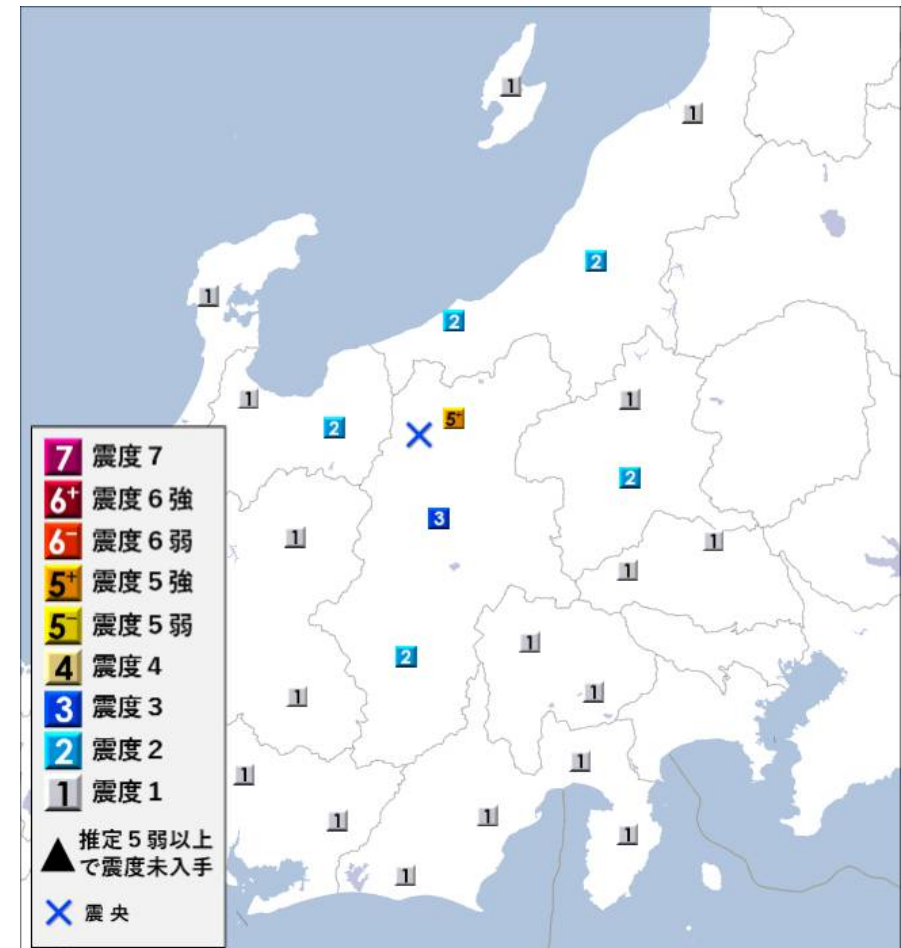
地震火山部 地震津波監視課
電話 03-3434-9041

震度5強を観測

震度5強 長野県

(揺れの強かった地域)
落石や崖崩れなどの危険
今後の地震や雨に十分注意
※1週間程度(特に今後2~3日の間)
最大震度5強程度の地震に注意
過去に続発事例あり。
さらに強い揺れの地震発生のおそれも。

4月18日13時24分発表



地震の概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	4月18日13時20分
発生時刻 (地震が発生した時刻)	4月18日13時20分
マグニチュード	5.0(暫定値)
発生場所	長野県北部 深さ 8km(暫定値;速報値 深さ約 10kmから更新)
発震機構	北西—南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生した地震 (速報)
震度	【最大震度5強】長野県の大町市(おおまちし)で震度5強を観測したほか、中部地方から関東地方にかけて震度5弱~1を観測
地震活動の状況 18日14時50分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が2回発生(震度1:2回)
長周期地震動の観測状況	階級1以上を観測した地域はなし

防災上の留意事項と今後の見通し

(防災上の留意事項)

この地震による津波の心配はありません。

揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどの危険性が高まっていますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意してください。

(今後の地震活動の見通し)

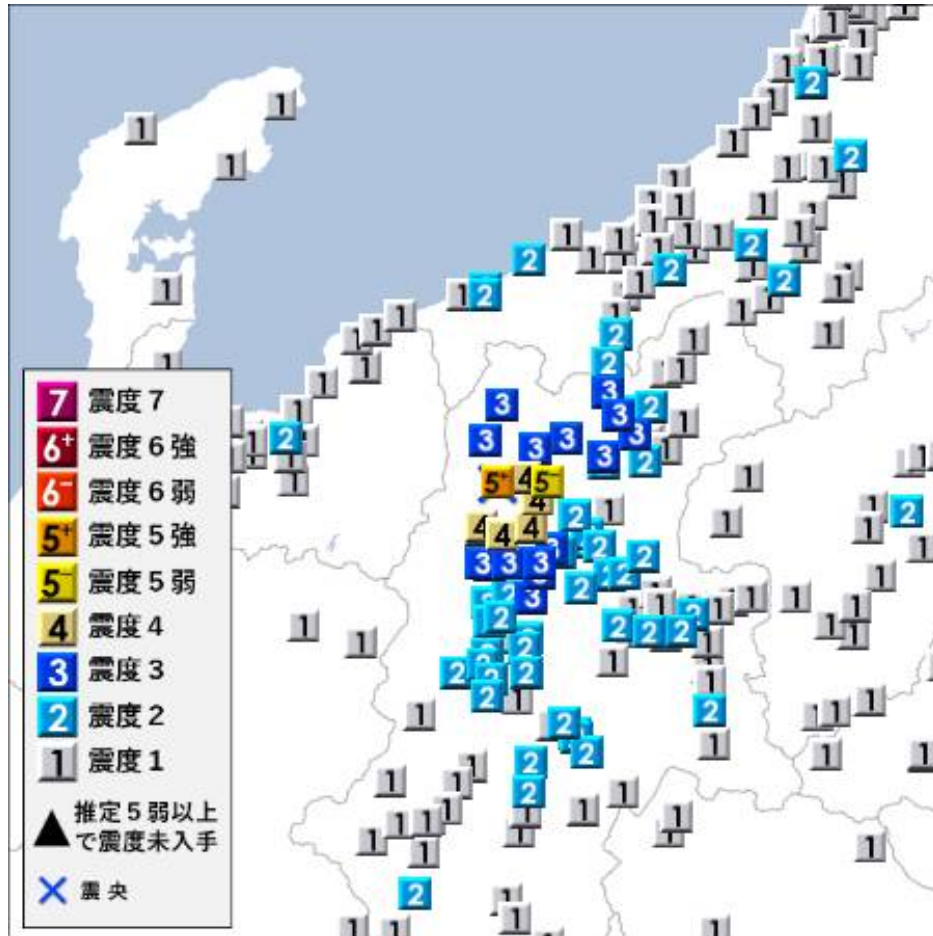
この地域では過去に、大地震発生から1週間程度の間と同程度の地震が続発した事例があることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度5強程度の地震に注意するとともに、さらに強い揺れをもたらす地震が発生する可能性もありますので注意してください。特に地震発生から2～3日程度は、強い揺れをもたらす地震が発生することが多くあります。

(周辺の活断層)

今回の地震の震源周辺には糸魚川―静岡構造線断層帯(北部区間)が存在しています。

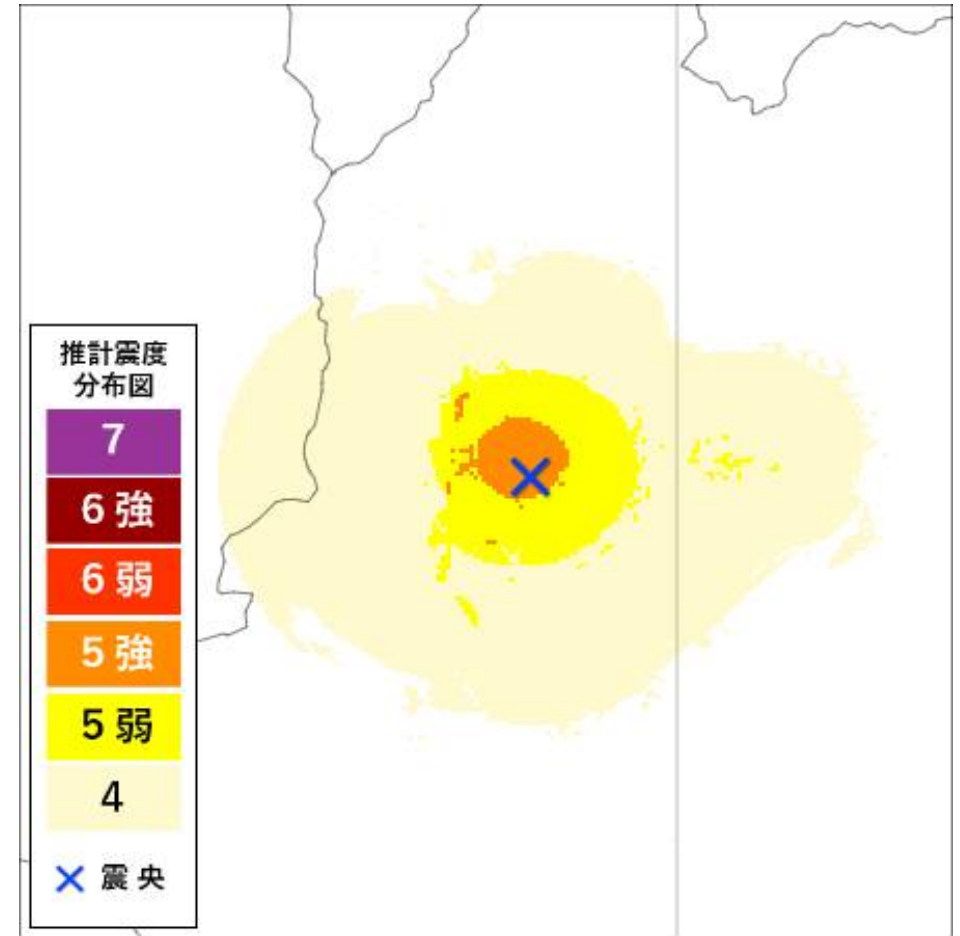
震度分布図・推計震度分布図

【各観測点の震度】



4月18日13時24分発表

推計震度分布図



※留意事項は以下リンクからご確認ください。

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

地震情報:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

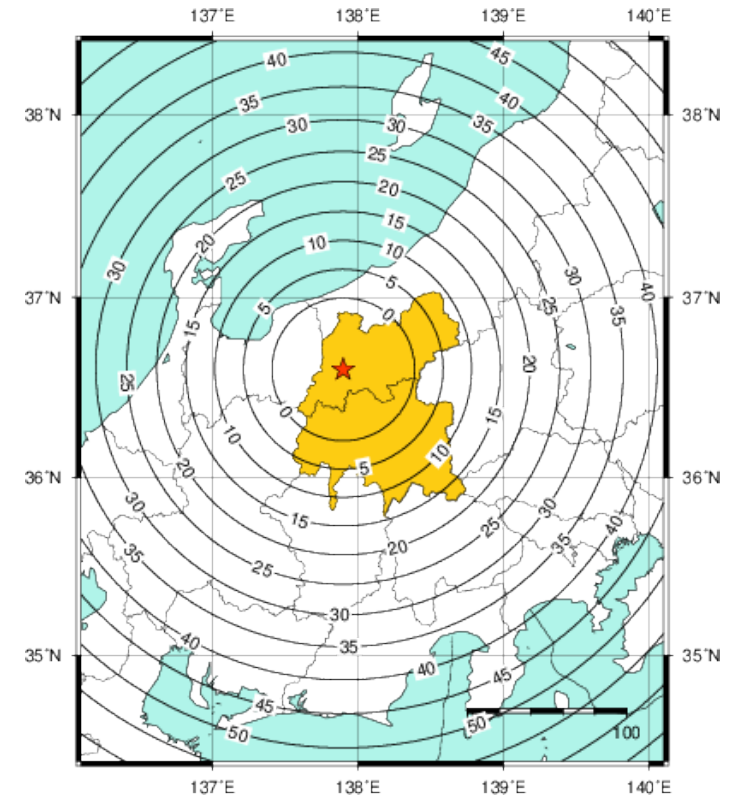
推計震度分布図:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

緊急地震速報の発表状況

緊急地震速報の詳細

提供時刻		経過 時間 (秒)	震源要素				予測した 震度と階級	
地震波 検知時刻	13時20分7.4秒		震央地名	北緯	東経	深さ		M
第5報	13時20分18.3秒	10.9	長野県北部	36.6	137.9	10km	5.3	※2
※2	震度5弱程度	長野県北部						
	震度4程度	長野県中部						

警報第1報の対象地域及び主要動到達までの時間



緊急地震速報（警報）を発表した地域 ★ 震源

発表状況の詳細は、以下のページでご確認ください。

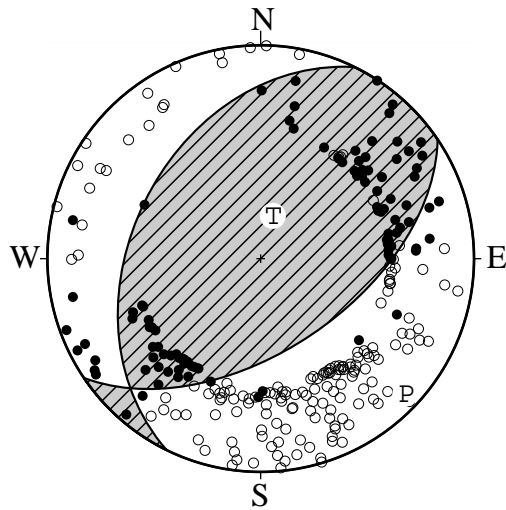
緊急地震速報(警報)の発表状況:https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

発震機構解

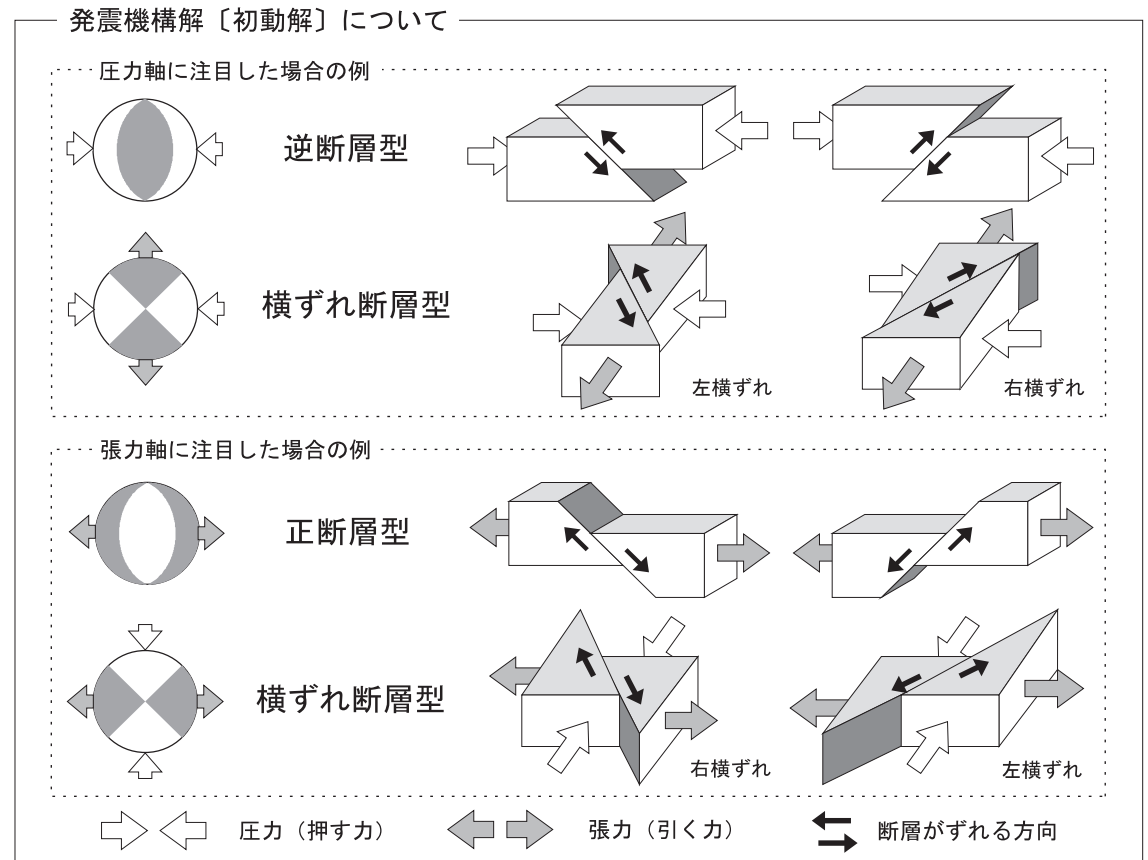
04181320

北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

[初動解(速報)]



下半球等積投影法で描画
 P : 圧力軸の方向
 T : 張力軸の方向
 は初動が上向きの観測点、
 は初動が下向きの観測点を示す。



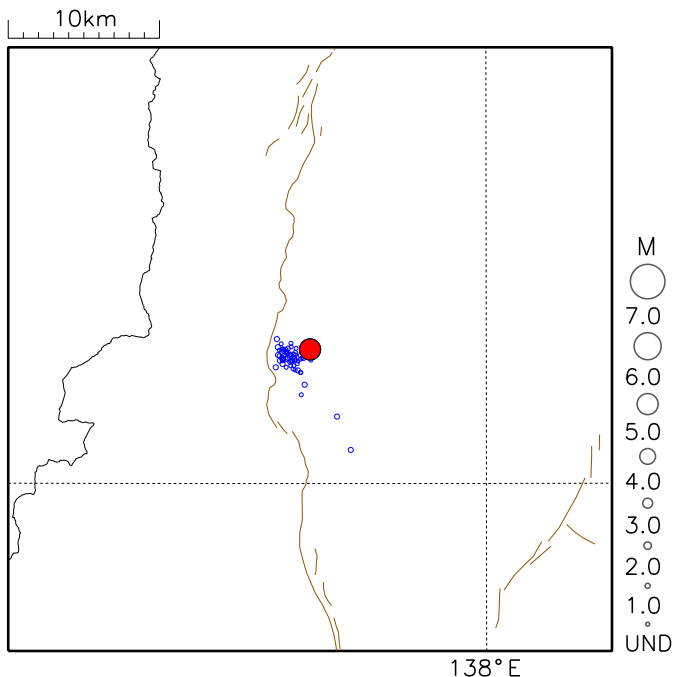
今回の地震活動

震央分布図（詳細図）

震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図

深さ0 -- 100km、 M 全て

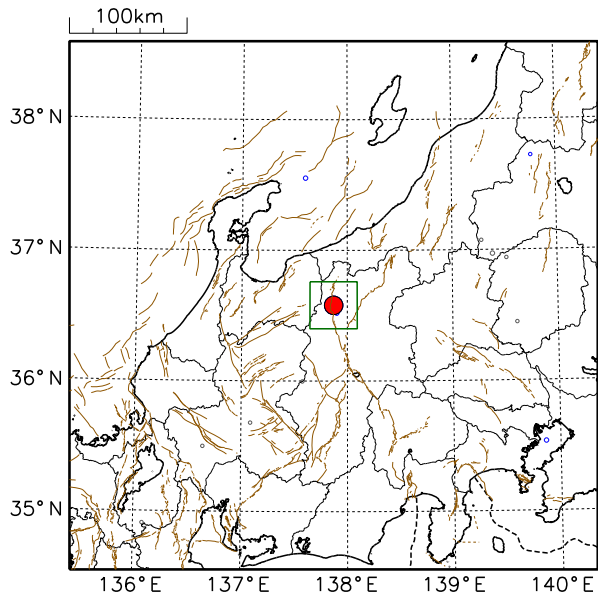
2026 04 18 11:00 -- 2026 04 18 14:00



震央分布図（広域図）

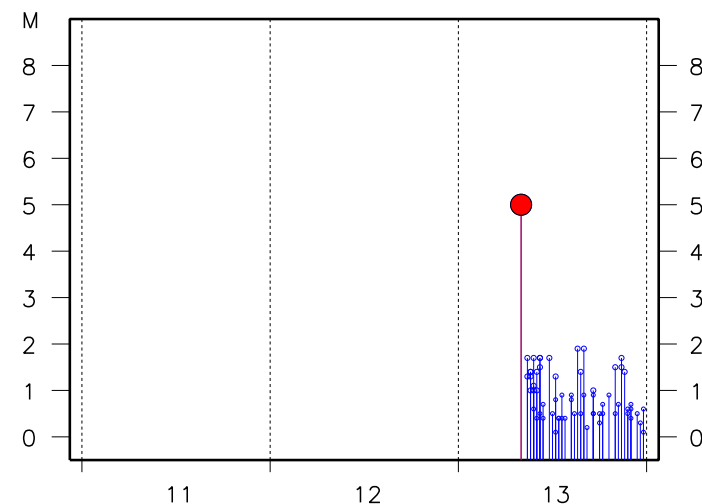
深さ0 -- 100km、 M 全て

2026 04 18 11:00 -- 2026 04 18 14:00



震央分布図（詳細図）の地震活動経過図

2026 04 18 11:00 -- 2026 04 18 14:00



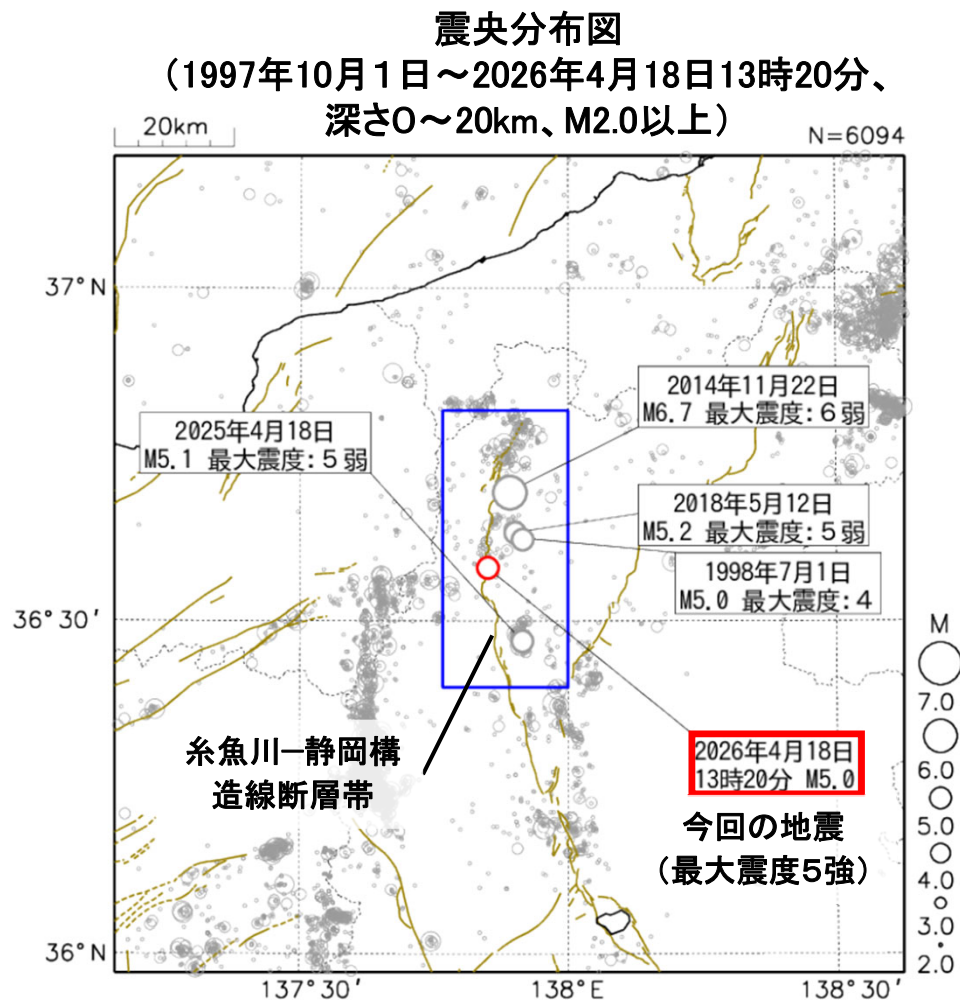
(震源の色について)赤色：今回の地震、青色：今回の地震より後に発生した地震、灰色：今回の地震より前に発生した地震

- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。

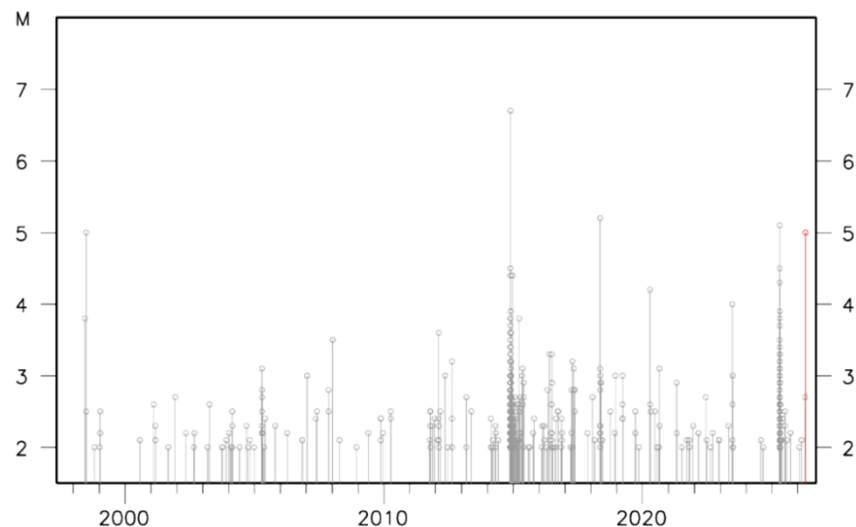
<資料の利用上の留意点>

- ・表示している震源は、速報値を含みます。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

令和8年4月18日 長野県北部の地震 (発生場所の詳細)



左図の四角形領域内の地震活動経過図



横軸は時間、縦軸はマグニチュード、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

2026年4月18日の地震を赤く表示

丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

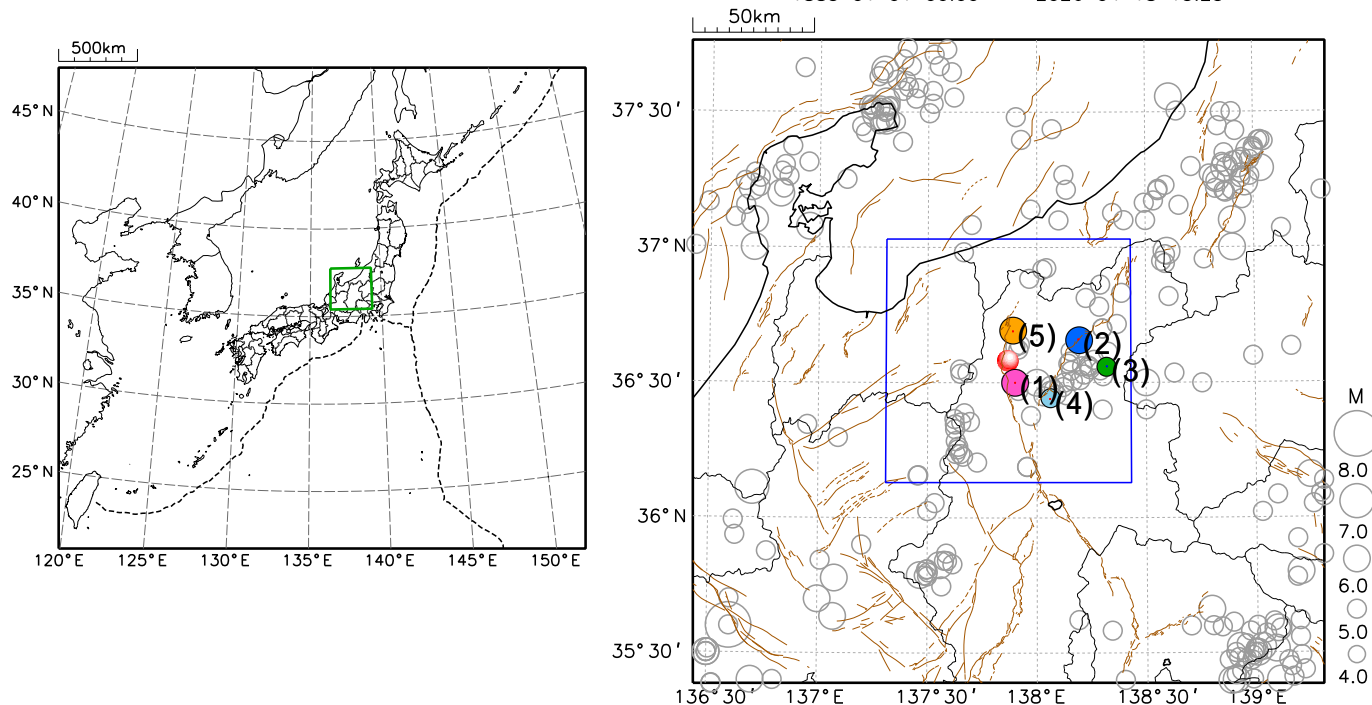
震央分布図中の茶色線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

今回の地震周辺の過去の主な地震活動

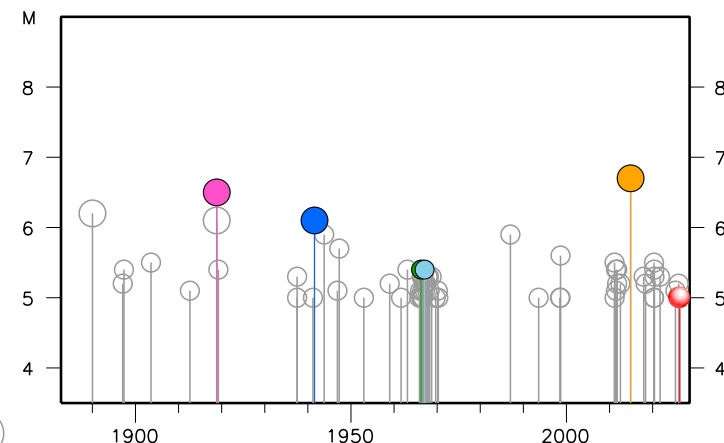
震央分布図

M 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km
今回の地震を赤く表示

1885 01 01 00:00 -- 2026 04 18 13:25



震央分布図の青色矩形内のM-T図



過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応

桃 : (1), 青 : (2), 緑 : (3), 水 : (4), 黄 : (5)

(1) 1918年11月11日 M:6.5 長野県北部
大町地震[6.1 6.5]

(2) 1941年07月15日 M:6.1 長野県北部
長沼地震

(3) 1966年04月05日 M:5.4 長野県北部
「松代群発地震」の最大規模の地震

(4) 1967年02月03日 M:5.4 長野県中部
「松代群発地震」の最大規模の地震

(5) 2014年11月22日 M:6.7 長野県北部

・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。

・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津（1982,1985）及び茅野・宇津（2001）による。

<地震の名称について>

・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。

・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。

名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。

・地震の名称の後ろの[]は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。

名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、[]内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。

<資料の利用上の注意点>

・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。

・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。

・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力（ ）が異なる場合がある。

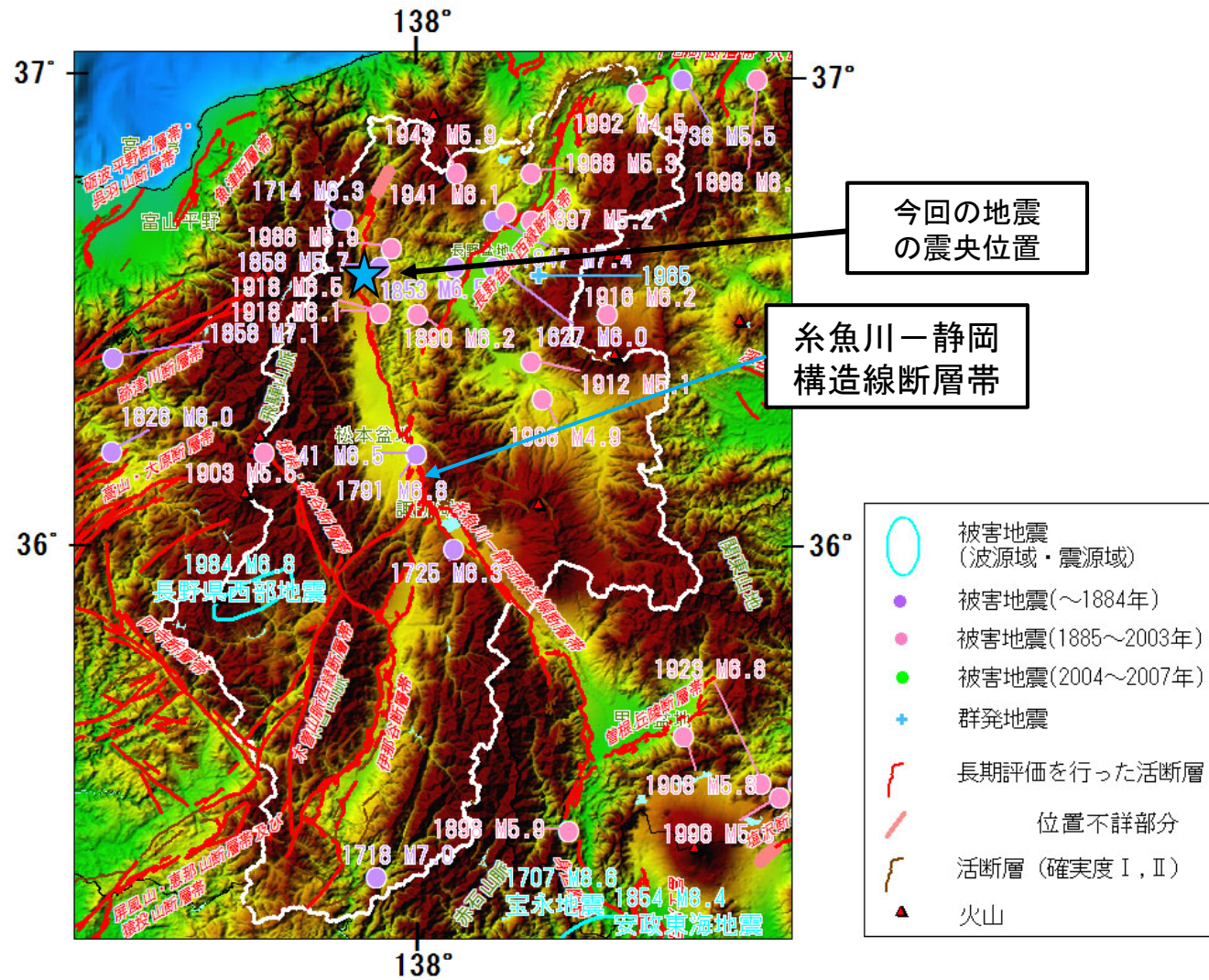
検知能力：特定の地域、時期において、あるM（規模）以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。

この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。

一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。

震源周辺の活断層について

(参考資料)



●周辺の活断層

○今回の地震の震源周辺には、糸魚川-静岡構造線断層帯が存在します。

●過去の例

○過去には、2005年の福岡県北西沖の地震 (M7.0) のように、大きな地震の後、近くの活断層 (警固断層帯南東部) は活動せず当初の地震活動域が広がらなかった例もあれば、1930年の北伊豆地震 (M7.3) のように、近くの活断層 (北伊豆断層帯) が活動し、当初の活動域が広がった例もあります。

○「平成28年 (2016年) 熊本地震」では、M6.5の地震が発生した2日後に、隣接する別の活断層でより規模の大きな地震が発生しました。

●留意事項

○過去の例のように、今回の地震の周辺に存在する活断層等で大きな地震が発生する可能性は否定できないため、留意が必要です。

○今回の地震の周辺に存在する活断層で大きな地震が発生した場合には、周辺で震度6強以上の強い揺れになると予想されています。

震源周辺の活断層について

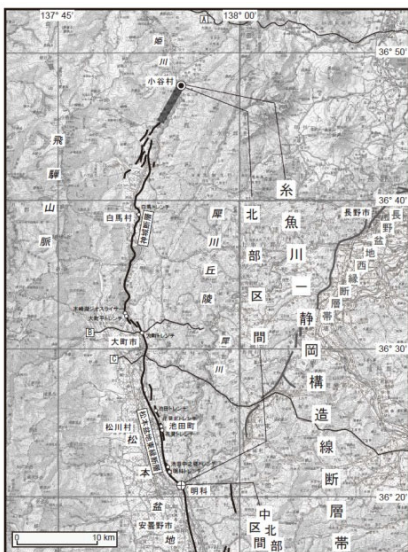
(参考資料)

糸魚川－静岡構造線断層帯

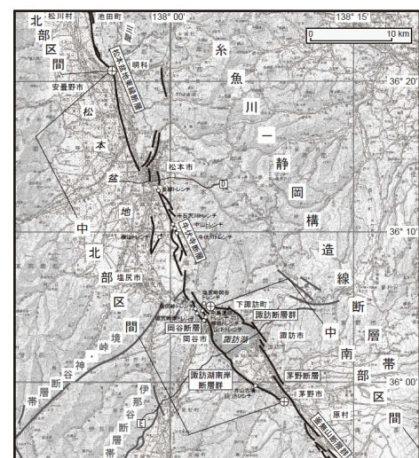
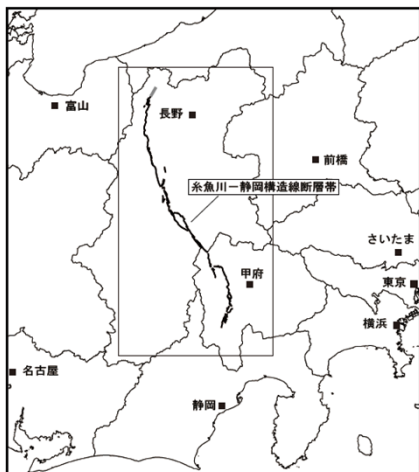
●過去の主な地震

2014年11月22日の長野県北部の地震(M6.7)では、本断層帯の北部区間を構成する神城断層の一部が活動したと考えられています。

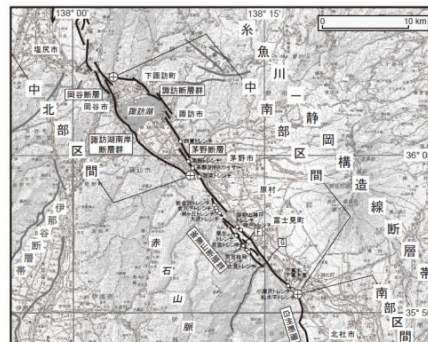
●活断層の詳細な位置



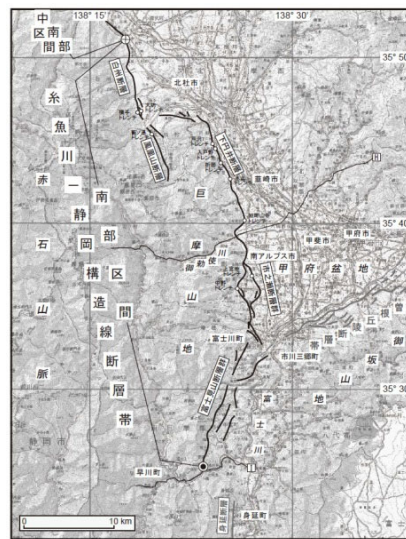
北部(小谷－明科)区間



中北部(明科－
諏訪湖南方)区間



中南部(諏訪湖北方
－下葛木)区間



南部(白州－富士見山)
区間

●想定される規模と今後30年以内の地震発生確率

断層帯 (活動区間)	想定される 規模	ランク
北部(小谷－明科)区 間	M7.7程度	S*ランク
中北部(明科－ 諏訪湖南方)区間	M7.6程度	S*ランク
中南部(諏訪湖北方 －下葛木)区間	M7.4程度	S*ランク
南部(白州－ 富士見山)区間	M7.6程度	Aランク

活断層における今後30年以内の地震発生確率が、3%以上を「Sランク」、0.1～3%を「Aランク」、0.1%未満を「Zランク」、不明(すぐに地震が起きることが否定できない)を「Xランク」と表記している。地震後経過率(最新活動時期から評価時点までの経過時間を、平均活動間隔で割った値)が0.7以上である活断層については、ランクに「*」を付記している。

同時に活動する 場合の断層帯	想定される規模
複数区間が同時に 活動する場合	M7.7－8.1程度

震源周辺の活断層について

(参考資料)

糸魚川－静岡構造線断層帯

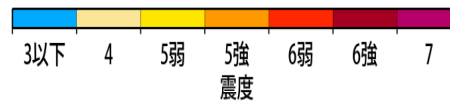
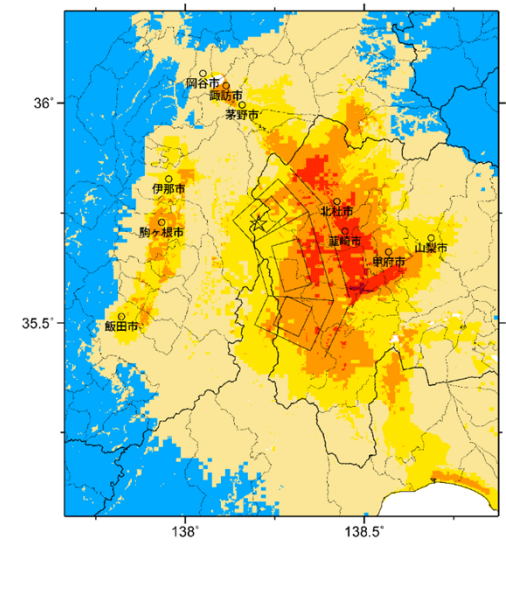
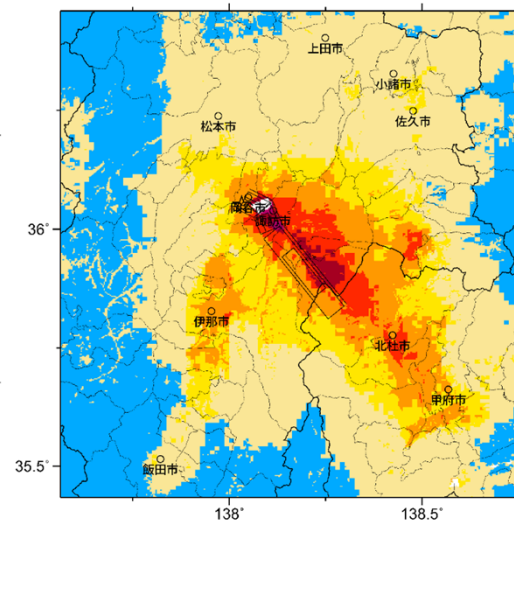
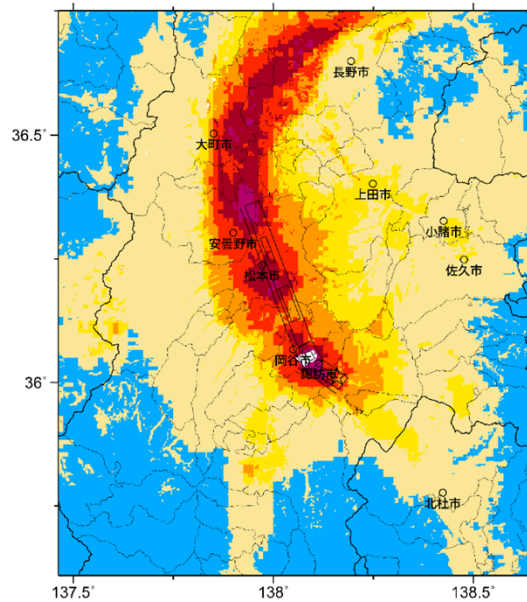
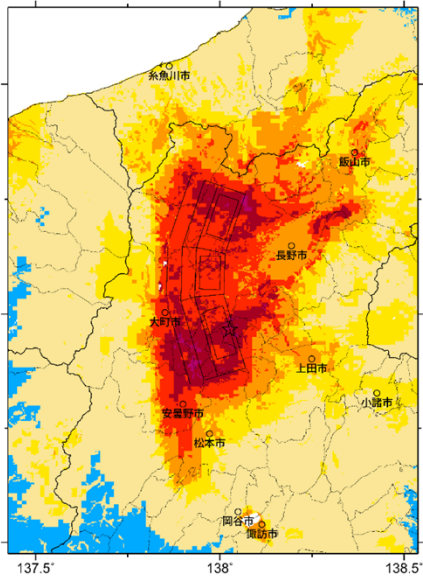
● 今回の地震周辺に存在する活断層で大きな地震が発生した場合に予想される震度分布図

北部(小谷－明科)区間

中北部(明科－諏訪湖南方)区間

中南部(諏訪湖北方－下葛木)区間

南部(白州－富士見山)区間



* 様々なケースが想定されるうちの一例を示したものであり、これよりも大きな震度になる場合があります。

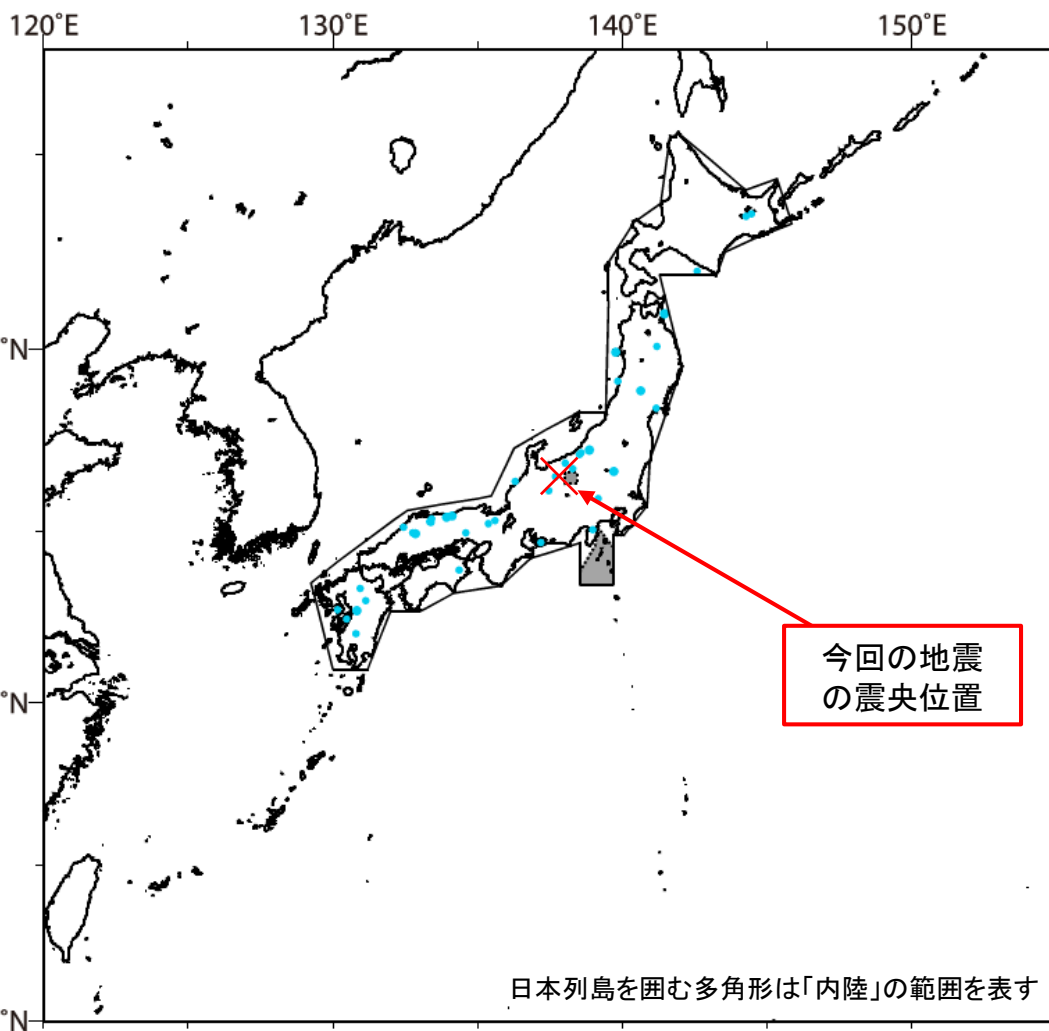
活断層の位置、想定される規模、今後30年以内の地震発生確率、予想される震度分布図は、地震調査研究推進本部による。
「都道府県ごとの地震活動」 https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/
「糸魚川－静岡構造線断層帯」の詳細 https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_katsudanso/f041_042_044_itoshizu/

震源周辺における規模の近い地震の続発事例について

(参考資料)

大きな地震発生後に規模の近い地震が続発した過去の事例 (内陸地殻内)

1923年～2016年6月、内陸で発生した深さ0～30km、マグニチュード5.0以上、規模の差が0.5以内もしくは同規模以上の地震が発生した地震を●で表示



規模が近い地震が続発した過去の事例は、地震調査研究推進本部地震調査委員会「大地震後の地震活動の見通しに関する情報のあり方」報告書による。

■日本全国での過去の事例

内陸の浅い場所で発生した大きな地震の場合、過去には規模が近い地震が続発した事例があります(左図の●及び灰色の領域)。また、まれに、発生した大きな地震よりも、より規模の大きな地震が発生した事例もあります(563事例中、35事例で全体の6%)。

■今回の地震の周辺における過去の事例

今回の地震の周辺では、1961年に富山県東部で発生したM5.0の地震の3分後にM4.5の地震が発生した事例があります。

発表した情報などについて

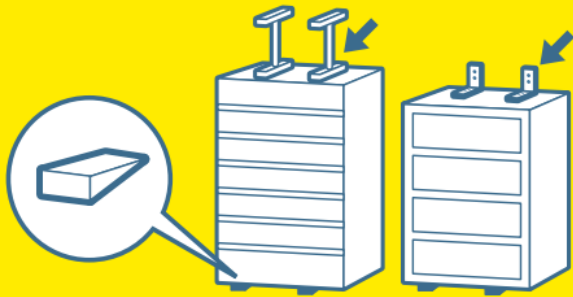
- 津波警報等の発表状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>
- 津波の観測状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>
- 潮位観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tidelevel>
- 地震情報
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
- 推計震度分布図
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map
- 長周期地震動に関する観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>
- 緊急地震速報の発表状況
https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html
- 発震機構解
<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html>
- 震央分布
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo>
- 地震から身を守るために
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/jishin_bosai/index.html
- 津波から身を守るために
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/tsunami_bosai/index.html
- 気象庁防災情報X(旧Twitter)
https://x.com/JMA_bousai



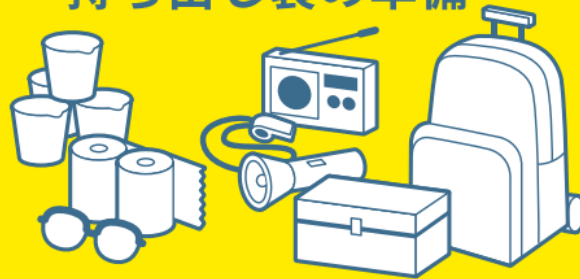
日頃からの地震への備え

日本国内では、いつどこで強い揺れを伴う地震が発生してもおかしくありませんので、日頃からの地震への備えを心がけてください。

□ 家具の固定



□ 非常用 持ち出し袋の準備



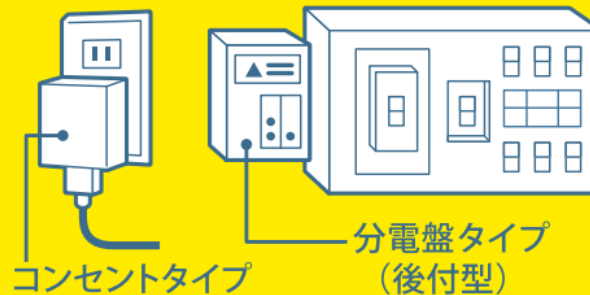
□ 水や食料の備蓄



□ 避難場所や 避難経路の確認



□ 感震ブレーカーの設置



□ 建物の耐震化



日頃からの備えについては、以下のページでもご確認いただけます。

地震から身を守るために：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/jishin_bosai/index.html

津波から身を守るために：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/index.html